

～下田のデキゴト～



8/1～7 天皇ご一家 6年ぶりに須崎御用邸へ

天皇皇后両陛下と長女愛子さまは、1～7日、須崎御用邸で静養されました。(愛子さまは5日までのご滞在) 1日夜に臨時列車で下田へ入られた両陛下と愛子さまは、出迎えたおよそ100人の市民と約30分間笑顔でことばを交わされ、交流なされました。



8/6～16 戦争・平和を考えるきっかけに

今年で終戦80年を迎えることから、道の駅開国下田みなにて戦争展を開催しました。約450点の文献や写真資料を展示し、来場者に下田に係る戦争の記録を紹介しました。期間中は、市内外から2,772人が来場しました。



8/8 世界とつながる WORLD CLASSROOM

実践的な英語学習や国際交流を目的に、下田市グローバルCITYプロジェクトの一環として、「世界の教室をつなぐ WORLD CLASSROOM」を開催しました。インドネシアやフィリピンの学校とオンラインでつなぎ、市内小中学生35人が参加しました。



8/2 プロの指導でさらなる成長を

下田中学校体育館にてB.LEAGUE (日本のプロバスケットボールリーグ) に所属する「ベルテックス静岡」のバスケットボール教室を開催しました。当日は、上村大佐選手と篠宮杏奈コーチが、下田中学校及び下田高校の生徒23名に指導しました。



8/7～8 勉強を通して小・中・高校生の交流を

中央公民館にて「しずおか寺子屋 in しもだ (夏休み学習会)」を開催しました。教職希望の下田高校生が、地域の小中学生に学習支援をするもので、互いに異なる世代と交流し、学ぶ「楽しさ」を知るきっかけとなりました。



8/19 要配慮者の防災を考えよう

明治大学理工学部建築学科と共に、ケアマネジャーを対象とした「逃げ地図作成ワークショップ」を実施しました。避難場所や経路、必要な備えなどを官・民・学が連携して検討しました。今後は、個別避難計画の作成等に役立てていきます。

8月のできごと	1～7日	8日
	天皇ご一家 須崎御用邸にて静養	世界の教室をつなぐ WORLD CLASSROOM
	静岡ベルテックス バスケットボール教室	寿大学 (8月講座)
	6～16日 終戦80年 下田の戦争展	30～31日 玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科
	7～8日 しずおか寺子屋 in しもだ(夏休み学習会)	パフォーミング・アーツ・プロジェクト 2025

地域子育て支援センター通信



問合せ先：地域子育て支援センター ☎072200

- 1日(水) めだかルーム
 - 4日(土) 開館日
 - 6日(月) ベビーリトミック (岡かよの先生)
 - 10日(金) 敷根公園で遊ぼう
 - 14日(火) 体育館で遊ぼう (市民スポーツセンター)
 - 17日(金) ミニミニ運動会
 - 18日(土) 開館日
 - 20日(月) 体操教室
 - 22日(水) あひる・うさぎルーム (敷根公園)
 - 23日(木) 誕生会
 - 24日(金) おでかけ広場 (海遊公園)
 - 27日(月) 発育測定・育児相談
保健師講話 保健師・栄養士来所
 - 30日(木) 31日(金) ハロウィン製作
- ※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。

残暑きびしい毎日が続きますが、夜になると虫の声を心地よく感じ、暦の上ではもう秋が訪れています。今年の子育て支援センターの夏は、お家の人と一緒にたらいやビニールプールの水遊びを毎日楽しみました。9月から「年齢別ルーム」が始まります。年齢にあった玩具、環境を用意しています。同年齢の子と一緒に遊びながら親子で交流を深めていきましょう。年齢別ルームの午前は、年齢指定の日になります。遊びにきてくださいね!



プール遊び 誕生会



金魚すくい 手形で遊ぼう

こんにちは、市長です
鉄腕アトムが見つめる未来は?

下田小学校の校歌(昭和22年)は「すこいと思ふ。ペリー来航から始まり、続く二番では、下田町奉行今村正長公、写真の祖下岡蓮杖(下田生まれ)、そして儒学者中根東里(同じ)と、下田ゆかりの三人の偉人への敬意が示される。今回はこのうちの東里にちなんだ話である。

清貧という言葉がこれほど当てはまる人は珍しいそう、あの(テレビ)にもよく出演されている 磯田道史先生も『無私日本人』という著書の中で世界に誇れる立派な人として讃えている。その東里が残した言葉に「こういうものがある。

「水を飲みて楽しむ者あり、錦を着て憂ふる者あり」

さて、話は変わるが、今、大阪万博が開催されている。AI(人工知能)やVR(仮想現実)などの展示に多くの入場者が賑わっている。55年前の1970年にも大阪万博があった。当時小学生だった私も見に行った。その時の目玉は「月の石」でアポロ宇宙船が月から持ち帰ったそれを見るため一日行列に並んだ記憶がある。また、日本で初めて広く一般にハンバーガーが売られたこと、このイベントの目玉のひとつだった。

た。TVでしか見たことがない豊かな暮らしの形がそこにはあったように思う。現実的には物価高と学生運動とか苦しい時代だったが、「太陽の塔」に象徴されるように私たちが明るい未来に向かって「水を飲みても楽しく」生きていたように思う。そして、今、実際に便利で快適な社会となっているのに、なぜか多くの不安や不満が蔓延している。TVでも毎日聞かされているので、「そうか、そんなにひどい社会なんだ今の日本」と思ってしまう。

今回の大阪万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」である。私も行ったが、想像以上に盛り沢山で十分に見物できなかつた。ただ一つ強心に残ったのは、あるペリオン(ペリオン)の屋根の上でボツと一人海の彼方を指さす鉄腕アトムの姿だった。彼は一体何を指しているのだろうか。善良なAI(人工知能)の「アトムは何を言いたいのだろう」と思った。そして、その時なぜか東里のあの言葉が浮かんだ。「錦(モノ)があふれている一方、不満や分断に覆われている今、どんな「未来社会」をデザインすべきか。私たちはアトムに答えなければならぬ。

